

令和５年度碧南ふれあい作業所指定管理者審査委員会 会議録

1 日時

令和５年８月８日（火）午前１０時から午前１１時５分まで

2 場所

碧南市役所２階 会議室３

3 出席者

(1) 出席委員

碧南市副市長 金沢 宏治（委員長）

東海税理士会刈谷支部支部長 伴野 義雄

日本福祉大学教授 青木 聖久

民生委員児童委員協議会代表 古久根久美子

NPO法人ゆるりん理事長 磯貝 厚子

碧南市経営企画課長 杉浦 英樹

(2) 事務局職員

福祉こども部長 深津 広明

福祉課長 山本 貴史

福祉課社会福祉係長 山本 昌弘

(3) 指定管理者

碧南ふれあい作業所所長 水谷 公治

社会福祉法人WHJ理事長 竹内 涼

社会福祉法人WHJ法人本部経理部長 熊本 直孝

4 傍聴者

０名

5 議題

(1) 令和４年度事業報告及び収支決算について

(2) 令和５年度事業計画及び収支予算について

(3) その他

6 議事の要旨

(1) あいさつ（金沢委員長）

## (2) 議題

### (1) 令和4・5年度事業報告及び収支決算について

指定管理者が会議資料に基づき、議題(1)を説明した。その後、審議した結果、承認された。

＜主な意見・質疑＞

#### 【委員】

ハラスメントの研修はどのようなことを行っているか。

#### 【指定管理者】

外部講師を招きハラスメント研修を実施。また、虐待防止や身体拘束に関して委員会を設けている。

#### 【委員】

利用者の手帳や障害支援区分の状況は。

#### 【指定管理者】

重度は50名程度である。また、平均区分は3.7である。

#### 【委員】

学校との交流はどのようなことをしているか。

#### 【指定管理者】

西尾特別支援学校に職員を派遣し、交流をしている。今後、学校との交流を深める活動をしたい。

#### 【委員】

賞与が昨年と比較し下がっているのはなぜか。

#### 【指定管理者】

管理者の変更があり、管理者の経験年数が異なるため減額している。

#### 【委員】

事務費に福利厚生費が入っている。人件費の方が適切ではないか。

#### 【指定管理者】

社会福祉法人会計基準において福利厚生費は事務費に入るべきとされている。

#### 【委員】

事業費に賃借料は何を借りているのか。

#### 【指定管理者】

ソフトウェアの賃借料である。

【委員】

雑収益の増加の要因は。

【指定管理者】

光熱費高騰に対する補助金とコロナへの見舞金である。

【委員】

利用実績における職員数 11.7 人は公的な基準があるのか。

【指定管理者】

国の基準に基づいている。

【委員】

職員の定着率は。

【指定管理者】

法人全体で令和 4 年度の離職率は 7.6 % である。

(2) 令和 5 年度事業計画及び収支予算について

指定管理者が会議資料に基づき、議題 (2) を説明した。その後、審議した結果、承認された。

<主な意見・質疑>

【委員】

人件費の減少はなぜか。

【指定管理者】

職員に兼務をかけているため、ほかの事業所において人件費を支出している。

【委員】

毎年、新規利用目標を決めているのか。

【指定管理者】

数字目標を具体的に掲げたのは今回が初めてである。高齢化に伴い利用者が減少している。意識の高揚のために目標設定を行った。

(3) その他

委員から、民生委員が地域交流をより深めていく旨の発言があった。

7 まとめ (日本福祉大学教授 青木 聖久)

4 点気づいた点をお伝えしたい。

1点目としては、いきづらさについて。

いきづらさというのは目に見えにくい。障害特性ばかりに目を向ければ、理解がしにくいこともある。しかし、人としての共通性は多くある。共通性について可視化して社会に発信してほしい。

2点目としては、いきがいについて。ディーセントワークという言葉がある。やりがいのある仕事でいきがいを見出すことは大切である。。創意工夫でやりがいのある仕事に迫ってほしい。

3点目としては、普及啓発について。障害について考えることができる機会をより広めてほしい。たとえば、学校との連携によって、障害について児童が考えるきっかけになる。普及啓発を通じて、活動を行う職員自身が深く障害について考える職員研修にもなる。

4点目としては、人に対する社会の価値基準、家族の願い。社会は、障害の有無ではなく、日中何をしているのかを評価する。日中に作業所でやりがいのある仕事をすることは大切である。